

令和2年度 第2回 上京区まちづくり円卓会議（安心安全部会）摘録

日 時： 令和2年11月20日（金） 午後7時～午後8時30分

場 所： 上京区総合庁舎4階 区民交流スペース

出席者： 【委員】大窪委員、東委員、三上委員、倉辻委員、坂下委員、赤井委員、井上委員
(欠席：明石委員)

【進行】松井まちづくりアドバイザー、加藤まちづくりアドバイザー

【職員】山内総務・防災課長

議題

（1）まちづくりの基本理念について

委員 少子化・人口減少・長寿社会は悪いものと捉えられているが、決してこれは悪いものではない。

産業の衰退についても新しいものを開発するといった努力をされている。数字だけを見て、悪いといふのは違うのではないか。

委員 全体として、基本理念を強調して書くことは、良いと思う。衰退や減少という表現をしているが、良い・悪いではなく、事実としてこういう傾向があるという書き方の方が良い。全体の冒頭にSDGsの話もあったが人口減少、長寿化の中に、気候変動とかのキーワードを入れるのも大切。環境が変化するにつれ、対応方法も変えていく必要があることを事実として書く方が良い。

また、最後の「上京の宝物」に「上京ならではの」という文言を入れた方が良いと思う。

委員 全体的に「文化」と「地域の絆」という文言が多く入っている。良い意味で、印象が強く残る。

（2）将来像「心安らかに暮らせるまち」について

委員 将来像2の「心安らかに暮らせるまち」についての表現だが、「安心安全に暮らせるまち」の方が分かりやすいのではないか。心安らかには、精神的な感じで曖昧である。安心安全の方が分かりやすい。

委員 上京区の自転車事故は交通事故全体の3割と非常に多い。

委員 上京区では自転車事故、自転車盗の件数が多く、割合が高いとある。自転車盗対策はどこに書かれているか。

進行 方針3の取組施策2に記載している。

委員 どれが自転車盗対策になのかが分かりにくい。

委員 少し書き方は考えないといけない。

委員 自治会町内会の加入促進について、上京として町内会に入っていない人がどれだけいるかは分からぬのか。

職員 10ページに記載している。上京区の推計加入率は73.4%。

委員 各町内、学区で調べることはできないと思うが、世帯数でいうとどのくらいなのか。

職員 非加入率が3割として、世帯数を約4万8千とすれば、1万4～5千くらいかと推定される。

委員 世帯には、大学生の世帯は入っているのか。

進行 住民票登録が無ければ、入っていない可能性もある。また、マンションで1つと計算されている場合もある。

委員 市民しんぶんを配るのも漏れている人がいるのではないか。

職員 市政協力員は、加入非加入に関わらず全世帯に配ることになっている。

委員 学生マンションとか独身マンションの場合に、1軒としてみなす場合がある。そのため、1部し

かないことがある。町内として何部必要かという時に、学生マンションで1軒と言うと、1部しかこない。実際、学生がごみ出し等について全く知らないということもよくある。

委員 しっかりとした管理人がいるマンションであれば、共益費という形で町内会費を徴収しているところもある。

進行 市民しんぶんの情報が多くの皆様に伝わることが重要であると感じる。

委員 災害時に物資等について多くの問題が出てくる。やはり上京として、自治会町内会に入っていただくことは大切ではないか。

委員 学区ごとの取り組み方の違いも影響していると思う。

委員 市民しんぶん上京区版は、区役所に配架しているのか。

進行 区役所で無料配架している。

委員 每月25日は上京の安心安全点検日となっているが、これは区版に掲載しているか。

進行 掲載している。

委員 自治会に加入してもらうことは、広く情報を伝える意味で非常に大切。同時に日常からのつながりを醸成する意味でも、自治会・町内会は大事である。特に学生がなかなか入ってくれない状況の中で、加入促進はもっと強調してもいいのではないか。情報だけでなく、もしものときに、助け合ったり、どこにおじいちゃん、おばあちゃんが住んでいるか、話したことがあるかないかで、全然違う。学生は防災において大きな力になってくれるかもしれない。学生の多い上京として、加入促進は強調すべきではないか。

委員 学区行事に来てもらうことで、交流が深められる。

委員 自治会・町内会加入を学生、単身者向けとか、少し対象を明確にするのはどうか。

委員 不動産業に関することで、業者は契約するときに学区の事業や町内会に関する説明をするもの。しかし、それを宅建業者はほとんどやっていないと感じる。もっと上京区から、業界に説明をしてはどうか。

委員 協力を呼び掛けるは大切。私たちのところでは、町内会に入ることを義務にしている。また、個別に単身の学生が入りたいと言って来てくれた時は、しっかりと話をして受け入れるべきである。

委員 町内会のことを、そもそも知らない人もいる。他府県から来る人は分からない。地域密着で、まちのあり方を説明することが大切。

委員 区版を各学校や交番、郵便局で置くのも一つの手かもしれない。

進行 方針2についてはどうか。

委員 コロナのキーワードは書いておくべきではないか。また、下から3行目の高齢者、障害者、災害時要配慮者は、大事なキーワードだが、上京は観光で来る人も多いので、ここに帰宅困難者も入れないと、おもてなしの環境につながらない。今は数が減っているが外国人の問題もある。災害が起るとどうしても地域でのケアが必要になる。

委員 外国人の多くは観光で来られているため、帰宅困難者になる。しかし住んでいる人もいる。その方々は、災害時要配慮者ということになるので、もちろん外国人は市民として扱うことになるが、これに加えて帰宅困難者、旅行者とか通勤通学者とかも含まれる。

委員 高齢者、障害者、帰宅困難者、外国人のいずれもが災害時要配慮者になるということ。最近外国人も多く来られるため、4つ並べていた方が、良いのではないか。

委員 コロナ禍では、避難所における3密対策も必要である。

進行 方針2のリーディングプロジェクト「社寺等の協力による地域の防災拠点づくりプロジェクト」はどうか。

委員 社寺等の防災拠点化は観光客の帰宅困難者対策として、効果が高い。住民だけでなく、帰宅困難者のためになるのは大きなメリット。

委員 自主防災では、ステッカーで自分の町内の避難場所を示している。例えば、イズミヤと協定を結んで、優先的に食べ物を提供してもらうといった取組もある。また、近くにホテルができるため、一時避難所として使えるよう協議している学区もある。多くの商業施設と学区が協定を結び、災害時の優先的な食料の供給を確保することも大切である。

進行 病院と協定を結ぶ地域もあると聞いている。

委員 それも重要な視点である。感染症対策も大切になってくる。

委員 地域では、大工、水道、ガスの扱い等といった特別な技術をもった人たちがいる。災害時はそうした方に協力をお願いすることも大事。

進行 方針3についてはどうか。

委員 自転車運転者に対するマナー向上の記載はあるが、歩行者向けのマナーはなくていいのか。

委員 高齢者の自転車事故は多く、自転車の逆走も目立つ。

委員 方針3のリード文に「電柱」とあるが、防災面からは電柱は失くしてほしい。

進行 電柱を減らす施策は景観に関わる事業だけか。

委員 防災の話でも動いてはいる。清水は半分景観、半分防災で国から予算が出た。

委員 電柱は逆の効果もあり、車がスピード出せない。電柱があるから安全という面もある。

委員 歩道をあえて凹凸にして車のスピードが出せないようにコントロールしている道もある。

委員 学区でも安心安全委員会をもっている。交通と防犯、夜間と昼間とかに分けてている。

委員 方針1の推進施策4について、取組例にある地域における空き家対策の促進は、将来像3の方に移してはどうか。その他の取組例は、安心安全につながるものだと思う。空き家の対策が安心安全になるのは確かだが、それは将来像3の方に任せて、タイトルは「生活環境悪化の防止」にしてはどうか。

委員 事実、空き家は、誰も住んでいないので倒壊の危険があり、それが原因で放火されることも多く、防災上非常に問題である。そのため、不良な環境のひとつに空き家が入ってくる。

進行 民泊パトロールには、ゲストハウスも含んでいるかと思うが、事業協定推進の文言についてはどうか。

委員 これは残しておいてよい。

委員 上京区では、子どもたちが防災のために地域を歩いたり、地図を作ったりと色々なことをやっている。そういう活動をしていることをどこかで記載できると良いと思う。

委員 先ほどの電柱の件だが、電柱がたっている町内の皆様の意見をひとつにまとめて、各企業に言えば、代替地を提供することで電柱を移動してくれるようになっている。

委員 その場合はお金がかかるのか？

委員 関西電力では出してくれるが、代替地の提供が必要になったはず。通行の妨げになるということで地域として話をすれば認めてくれる。ただし、全員が同じ意見である場合のみで、1人でも反対だとできない。

委員 全体的に上京らしさのエッセンスが欲しい。防災訓練でも、ただ訓練するのではなく、日常行事と組み合わせてやる等、上京の行事の良さがそこに活かされていると良い。新たな視点を取り入れた防災訓練とは書かれているが、その中身が分からない。例えば、地蔵盆のときに、防災訓練的なゲームを取り入れるとかいうのも、上京の資源を活かしたものになるのではないか。

委員 地蔵盆の景品で防災関連のグッズを渡すところもある。

委員 標語はわかりやすく、上京らしいものが良い。

【予定時間につき終了】

(3) 部会での意見の総括

- ・基本理念のところで、良い悪いではなく、事実としてこういう傾向、変化があるといったような書き方に変更してはどうか。
- ・全体の中で、上京ならではの表現をもう少し入れて、関わるところを少し修正してはどうか。
- ・SDGs、気候変動のキーワードも防災上、重要なものなので、そのあたりも入れてはどうか。
- ・将来像のタイトルの「心安らかに」は「安心安全に」の方がわかりやすいのではないか。
- ・具体的な部分で、上京では、自転車盗が多い。全市でも自転車事故の率が高いところがあるので、そのあたりをきちんと見据えた対策が必要である。
- ・方針1の推進施策1では、特に町内会自治会の加入をできるだけ促進することで、情報伝達とか日常のつながりが育まれ、結果として地域を支えることにつながる。そのため、学生も含めた加入促進に取り組む必要がある。
- ・高い防犯意識のところに自転車盗対策を入れていく必要がある。
- ・推進施策4の空き家対策では、ごみ屋敷と同じような形の不良な生活環境として空き家を捉える整理をしてはどうか。
- ・方針2の「自助」・「共助」・「公助」が連携した災害に強いまちづくりについて、文章の中にコロナの話も入れた方が良い。
- ・災害弱者と今は言わないが、いわゆる帰宅困難者や外国人の視点も入れてはどうか。
- ・推進施策1の区民一人一人の命を守る取組について、学区等で取り組んでおられる子どもたちへの防災教育も取組にきっちり位置付けてはどうか。
- ・推進施策3の災害対策機能の強化は、感染症予防のキーワードが出ているので、リード文でとりあげてはどうか。
- ・リーディングプロジェクトで、社寺等の協力による防災拠点づくりプロジェクトが紹介されているが、これに地元のスーパーや宿泊施設、病院、そういったものを含めた災害時の協力を追加し、地域に根差した防災拠点づくりを積極的に進めてはどうか。
- ・それは、コロナ禍における分散避難にも役立つのではないか。
- ・方針3の交通安全については、自転車マナー、電柱の問題、歩行者のマナー、スマホ歩きや乱横断も問題もあるので。マナーや規律が必要ではないか。
- ・電柱については地域の意見の集約ができれば移設も可能との話があった。地域で取り組める施策になるので、加えてはどうか。
- ・全体に「上京らしさ」を表現に加えてはどうか。例えば、防災訓練も地蔵盆の機会を活かすとか、防災グッズを子供に配るとかも上京らしさにつながっていくのではないか。

以上